

安珍は、一人・・・道成寺の講堂に来ていた。
安珍は、日光・月光菩薩像を見たい・・・と思っていた。

薬師寺のものとは、形が違うが・・・この道成寺にも、日光・月光菩薩像がある。

少し、めずらしい形だが・・・この道成寺では、日光・月光菩薩像は、薬師如来ではなく、千手観音菩薩像の脇侍として立っている。

しかし、いぎ、こうして、講堂に来て・・・三体の菩薩像の前に立ってみると・・・安珍が・・・一番、心を惹かれたのは、千手観音菩薩像だった。

耳や鼻は・・・こんなに大きくない。首やアゴは・・・もっと細い……。唇だって、もっと柔らかく・・・ふっくらしている……。けれど、その優しい眼差しや、面影は・・・なんとなく、清姫に似ている……。

